

# 学校の詩

うた



学校の教育目標

## 自律貢献

文責：教頭 藤田天平

### ◆2学期が始まりました。

9月1日(水)に始業式をテレビ放送で行い、2学期がスタートしました。緊急事態宣言中ですので、各教室ではあらためて感染症対策の徹底を確認しています。最近はずいぶん感染者が減少しているという報道がありますが、気を緩めることなく、今後もお子様の安心・安全を最優先に考え、教育活動を進めて参ります。

始業式での藤井浩彦校長の話を紹介いたします。(9月1日御陵中HP「校長のひとりごと」より)

1つ目は、皆さんもニュース等で知っているかと思いますが、小中学生の感染が非常に増えている状況です。コロナウイルスの感染防止対策を今まで以上に徹底して行ってください。マスクの着用、こまめな手洗い、換気などはもちろんです。友達との会話等にも少し気を配ってください。少し距離をとるとか、必要以上の大声は出さないなどの配慮をお願いします。

2つ目は、先ほど「少し距離をとって」という言葉を使いましたが、だからといって、「心の距離が離れないように」、「相手意識」をしっかりとった「目配り・気配り・心配り」の溢れる日常であってほしいと思っています。こんなときだからこそ、「本当の意味での優しさ」をもった言動をしてください。「自分だけが苦しいのではない」「もっと苦しい人もいる」・・・だからこそ、助け合って、支えあっていかなければなりません。一人一人を大切にできる気持ちを持ち続けてください。

3つ目は、皆さんに何度か「自律貢献」の話をしました。その中で今年度、「志」という言葉について説明しました。「志」とは、単なる自分の夢ではなく、人々の幸せのための目標であると言いました。コロナ禍で、行事や日常生活も制限の中ではありますが、ぜひ、友達のために、誰かのために、地域のため・社会のため・・・そんな「志」をもって、粘り強く、チャレンジする2学期であってほしいと思います。



2学期は様々な学校行事や学年行事を計画しています。コロナ禍の中で制限がかかることが多くはありますが、「できることを」「工夫して」、そして、少しでも子どもたちの思い出や成長につながるよう取組を進めて参ります。また、可能な限り保護者の皆様にご来校していただく機会も増やしたいと考えております。その際にはあらためてご案内申し上げますので、ぜひ、子どもたちが活躍する姿をご覧いただければと思います。

### ◆10月2日(土)から筑紫区新人体育大会が始まります。

10月に入るとすぐに筑紫区新人体育大会が始まります。9月の緊急事態宣言中は部活動を中止しておりましたが、宣言解除後すぐに大会が始まる部につきましては、特例として、大会の2週間前から時間や内容等を制限しながら活動を再開しております。短い期間での練習になりますが、子どもたちには少しでもいい状態で大会に臨んでほしいと思います。

なお、保護者の皆様の応援につきましては、競技によって制限等が異なります。詳細につきましては、各部の顧問から連絡をさせていただきます。

新人大会が安全かつ子どもたちにとって有意義なものになりますよう、保護者の皆様には主旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願いいたします。

筑紫区新人体育大会					
競技名	月日	会場	競技名	月日	会場
野球	10月2日(土)	大佐野球場	男子バレー	10月9日(土)	学園中
	10月3日(日)	大野東中		10月10日(日)	
ソフト	10月2日(土)	春日東中	女子バレー	10月9日(土)	那珂川北中
	10月3日(日)			10月10日(日)	春日中
サッカー	10月2日(土)	那珂川南中	陸上(筑前地区)	10月2日(土)	博多の森
	10月3日(日)				
男子バスケット	10月2日(土)	筑紫野南中	剣道	10月9日(土)	二日市中
	10月3日(日)	天拝中			

※上記の大会の結果でその後の日程・会場が決まります

## 「虫の目 鳥の目 魚の目」

【教頭コラム】

### 「自律のために」

#### 使用契約書

- これは親に買ってもらい、料金も払ってもらうものです。したがってパスワードは親に教えます。そして父や母からの電話にも礼儀正しく出ます。
- 学校がある平日は 時、週末は 時になったら、親に携帯を渡します。保管場所はリビングにし、夜間は携帯を使用しません。
- 朝 時から携帯を使用します。相手にも家族がいるので、互いの家族のプライバシーを尊重します。
- 故障、紛失の際の修理や、取り替え費用は自己負担します。
- 他の人に対して嘘をつくこと、ばかにすること、あざむくことに使用しません。たとえ誘われても、人を傷つけるような会話には参加しません。また、知られたくない自分のプライバシーや他人のプライベートの写真等を送ったり、受け取ったり、拡散させたりしません。
- 顔を知らない相手とはメール等のやりとりはしません。
- 面と向かって言えないことは、メールでも言いません。また、相手の親がいる前で言えないことは、メールでも言いません。メールばかりに頼るのではなく、人との会話を大切にします。
- 公共の場では電源を切るか、マナーモードにし、基本的には使用しないようにします。また、食事中は緊急時を除き、携帯は使用しません。
- 携帯電話の使用過多により、自分のやるべきことをおろそかにすることはありません。
- たまには携帯を家において出かけ、携帯がなくても生きていけるような人間になります。

上記の契約が守れていないと判断された場合、携帯電話を返還します。

平成 年 月 日 名前

【上の写真は娘が署名・捺印した契約書です。現在リビングに貼っています】

我が家では娘が高校に入学した時に携帯電話を買い与えました。それまでは母親の携帯を借りてメール等はさせていました。友達が自分の携帯電話でやりとりをする中、一人だけ母親の携帯を借りてさみしそうにメールをしている娘を見て、「不必要なガマンをさせているのではないか」と自問自答することもありました。

高校入学が決まり、春休みに娘を連れて携帯電話を買いに行きました。そして、家に帰ってから、「使用契約書」を渡し、これから携帯電話を使うにあたってのルールやマナーを話しました。娘は納得して、契約書に署名、捺印してくれました。今年で20歳となり、携帯電話の使用時間等については、本人に任せていますが、当時は7時から22時までと使用時間を決めていました。そのおかげもあってか、現在、携帯電話漬けの生活になっていない娘を見ると、少しは救われた気になっています。

教育の場だけでなく、家庭においても子どもたちに「どこまでガマンさせるか」「何をガマンさせるか」はとても難しい問題です。今は「ガマン強い子」が必ずしもいい子とは限らない時代です。しかし、子どもたちの成長のためには、どこかで「ガマン」することを教えていかなければなりません。

本校の学校教育目標「自律貢献」の「自律」には、「自分自身で立てた規範に従って行動すること」という意味があります。これは大人になるためにつけておきたい大切な力だと考えます。そのために学校では「どこまでガマンさせるか」「なにをガマンさせるか」を常に意識しながら、足並みをそろえて教育をしていく必要があると思っています。

### ◆お知らせ

学校では新型コロナウイルス感染等で出席停止となったお子様に、タブレット等の貸し出しを行い、オンライン授業を実施しております。必要な場合は担任までご相談ください。ご家庭のパソコン等でも実施は可能です。なお、オンライン授業につきましては、時間帯によっては配信がうまくいかない場合もございます。その際は学校までご連絡ください。

